

## ISO 27001セミナー案内

新設のセミナーを含め、2022年に改訂されたISO 27001(情報セキュリティマネジメントシステム)関連コースについてご案内いたします。

・「ISO 27001:2022 規格改訂セミナー(オンライン)」:2013年版の認証取得の組織様は、新規格への対応が必要となります。本セミナーでは、改訂内容や移行審査のスケジュールなど、今後必要となる対応事項について解説いたします。

・「ISO 27001:2022 規格解釈一日コース(オンライン)」:ISO 27001:2022の規格要求事項及び管理策を理解するためのコースです。情報セキュリティマネジメントシステムの構築・運用・改善に役立つ知識を習得します。

・「ISO 27001:2022 内部監査員養成コース」(オンライン一日/東京会場二日):規格要求事項、情報セキュリティリスクの特定・対応・管理策など、ISMSの内部監査に必要な基本的知識・スキルを習得します。2日間コースでは、さらにケーススタディー・グループワークを通してより実践的に学びます。

各コースの詳細は、弊社ホームページ、または、インターテックアカデミー & トレーニング(TEL:03-4510-2767)までお気軽にお問い合わせください。

## ISO 45002:2023 発行

2023年2月13日、労働安全衛生の新規格として、ISO 45002:2023(ISO 45001:2018 実施に関する一般指針)が発行されました。

ISO 45002は、ISO 45001に準拠する労働安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)の確立、実施、維持及び継続的改善に役立つ指針を提供するガイドライン規格です。2018年に労働安全衛生初のISO規格として発行されたISO 45001には、要求事項の理解の助けとなる解釈の手引きは含まれていますが、以前のOHSAS 18001に対するOHSAS 18002、またはISO 9001に対するISO 9004のような、実施のための手引きは含まれておらず、今回のISO 45002が発行されました。

ISO 45002では、ISO 9001やISO 45001のように「shall しなければならない」という表現ではなく、OHSAS 18002やISO 9004の指針と同様、「should 望ましい」と表現されており、ISO 45001の要求事項の変更や、新たな要求事項の追加をするものではありません。また、ISO 45002には、あくまでもある一つの方法としてですが、組織が要求事項をどのように満たし実施しているか、実際の事例が提供されています。自分たちの安全衛生状況を反映

して、OHSMSを実施するにはどうしたらよいか、追加の手引きを探している組織などへの参考になることが期待されます。(参照:IRCAサイト <https://japan.irca.org/>)

## 審査員会議

弊社では、「有益な審査の実現に向けた協議、技術力向上、感度調整」の目的で、定期的に審査員会議を行っております。昨年、実地開催が復活しましたが、今年1月の、品質・環境・労働安全衛生合同審査員会議は、リスクを考慮し、再度リモートでの開催となりました。

今回のテーマは、①インターテックの審査方針について ②審査員の心得 ③UKASによる監査・グローバル内部監査の報告 ④技術面の向上について(「組織の製品・サービス」「設計・開発」とは何かを考える適用可能性の評価について)などの内容で、多数の審査員が参加しました。

今年はあと複数回予定されており、状況により、実地やりリモートと組み合わせるようになりますが、こういった審査員会議などを通して、お客様に付加価値を感じていただける審査ができるよう、日々取り組んでおります。

## INFORMATION

～規格改訂情報～

### JGAP2022運用開始

～2022年11月14日発行の「JGAP2022」が、2023年2月14日から運用開始となりました～

「JGAP2016」に変わる「JGAP2022」が、2023年2月14日から運用開始となりました。

一般財団法人日本GAP協会(以下、JGF)ホームページに、改訂されたJGAP総合規則2022及びJGAP2022管理点と適合基準が公開されています。主要改定点やJGAP2016の対比表も公開されておりますので、ご参照ください。

([https://jgap.jp/download/#JGAP\\_1\\_statement](https://jgap.jp/download/#JGAP_1_statement))

#### ■JGAP2022の申込受付・審査開始

2023年2月14日から開始しております。お申し込み書は弊社ホームページからダウンロードをお願いします。

(<https://ba.intertek-jpn.com/service/certification/standard12/#8th>)

認定機関の公益財団法人日本適合性認定協会

(JAB)による弊社の2022年版への認定の移行が認められるまでは、JAB認定マーク無しの認証書となり、認定後、順次JAB認定マーク入りの認証書に差し替えとなります。



#### ■JGAP2016の取扱い

1. 総合規則2017は2023年2月14日に失効し、総合規則2022が有効となります。
2. JGAP2016の初回・更新審査の申込期限は、2024年2月13日迄で、申込期限から90日以内に審査を実施する必要があります。
3. 2023年2月14日以降に維持審査を予定している農場・団体は、JGAP2016での審査を原則とします。(JGAP2022も可能)

#### ■JGAPとASIAGAPの同時認証

ASIAGAP(Ver.2.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.3 改定第1版)と同時認証ができるのはJGAP2016です。ASIAGAP認証に加えて、JGAPの精米または仕上茶の認証をご希望の場合は、JGAP2016による審査をお受けください。

詳細は12月9日に発表された通知JGF第296号をご参照ください。( <https://jgap.jp/uploads/media/BCnaDN4wVAA> )

ご不明な点等ございましたら、食品認証部(03-3669-7420)までお問い合わせください。